

# 三陸新報

三陸新報

2018年(平成30年)1月31日 水曜日

## うまいーしゃぶしゃぶ

水梨 小 ワカメ味わう食育授業

気仙沼市立水梨小学校(笹川清治校長)で29日、養殖漁業者を講師に迎えた食育授業が開かれた。全校児童19人が採れたてのワカメをしゃぶしゃぶにして味わうなどし、三陸の

海の恵みを実感した。気仙沼の魚を学校給食に普及させる会(日井壯太郎代表)が、魚食普及などを目的に、学校給食週間に合わせて開催。南三陸町歌津でワカメ、ホタテ、カキを育てる養殖漁業者・高橋直哉さん(37)が講師を務めた。高橋さんは、6、7月の種付けから始まるワカメの育て方を説明。収穫時期には午前

3時ごろから作業するなど大変な面もあるが、「日本、世界でも最高ランクと言われる三陸ワカメを作るため、毎日頑張っている」と語った。

また、海の生き物にとって、山から川、海へと流れる栄養分が大切であることを伝え、「山があつての海。海と山はつながっている」ということを忘れないで」と話した。児童は、この日収穫

したばかりの生ワカメをしゃぶしゃぶにし、ポン酢につけて試食。褐色からきれいな緑色に変わったシャキシャキのワカメを「うまいー」などと言いながら、何度も口に運んでいた。



ワカメのしゃぶしゃぶを味わう